

予算委員会で質問に登壇 清水市政に鋭く提言

さいたま市議会2月定例会は2月7日に開会し、平成29年度一般会計当初予算、約5,301億円などを議決し閉会しました（3月23日）。

今年度は予算委員として、予算委員会で質問をすることができました。市長はさいたま市誕生以来最大規模の予算と豪語していますが、その主な財源は市民の皆さん一人ひとりが納めた大切な税金です。常に効果のある使い方を模索するため、しっかり議会で議論することが重要だと考えています。今回は男女共同参画推進事業はじめ消防団の課題など、特に市の広告・PRの手法について見直しを含めた再検討の必要性を提言させて頂きました。本号ではその概略を報告させていただきます。



男女共同参画推進事業について

Q 土橋市議 男女共同参画推進事業について、これまでの経緯と成果について伺いたい。市民意識調査で「男女共同」を知らないとの答えが平成18年は30.7%、平成28年は32%と、知らないとの答えが数ポイント増えており、いかがなものかと考える。どう認識しているか伺いたい。

A 男女共同参画課長 実際にアンケートをとってみて、啓発が少し足りないのかなと実感している。今後、啓発に努めていきたい。

Q 土橋市議 市の調査で「男性の方が優遇されている」との答えが70%と、ほとんど浸透していないのではないかと。市は女性管理職を多くと言っているが、この議場内を見渡しても女性が1割いない。どうなるべきだと考えているのか、具体的に聞きたい。

A 男女共同参画課長 社会全体の中で、男性が家事や育児を積極的にしていく、また女性が社会に進出している姿が見られるような状況にならなければと考える。

Q 土橋市議 形式的な男女平等ではなく、みんなが納得いくような取り組みを進めて頂きたい。

次に、啓発推進のための情報誌「You & Me～夢～」について伺いたい。市民意識調査では、平成23年に「読んだことがある」は12%、「読んだことがない」は83.7%。28年は「読んだことがある」が10.2%、「読んだことがない」は87.9%。ほとんどの人が読んでいない状況で、なぜずっと同じやり方を続けているのか伺いたい。

A 男女共同参画課長 啓発誌は表紙が命ということで、平成26年は漫画を採用し、防災をテーマに作成したところ好評だった。27年はデートDVをテーマに、高校の生徒さんの作品を掲載。紙面の大きさなど工夫をしているが手に取って頂けない状況もある。今後も研究していきたい。

Q 土橋市議 PRは確かに大事だが、市の魅力を発信しますと言っても、何の魅力を誰に伝え何を得たいのかがさっぱり分からない。

A 男女共同参画課長 対象は市民全員だが、特に性別役割分担意識の高い高齢の方に見て頂きたい。

との回答でした。

高齢の方に漫画でアピールすることがベストだと考えているのか甚だ疑問に感じます。全庁的に広告やPRのあり方を考え直す必要があるようです。お金ばかりかけ、十分な成果も得られずに自己満足で、「また来年も同様をお願いします」というのは認められません。しっかり考え直して頂きたいと提言しました。



男女共同参画推進情報誌「You & Me～夢～」の表紙

DORASHI

SHIYUJI

■消防団の車両配備について



Q 土橋市議 消防団の車両配備について、更新整備5億3000万円の内訳と台数について聞きたい。

A 消防課長 平成29年度の消防団の車両は消防ポンプ自動車1台、小型ポンプ積載車3台を予定している。予算内訳は消防ポンプ自動車約1700万円、小型ポンプ積載車が3台で4400万円となっている。

Q 土橋市議 消防団の車両配備に対しては各消防団や自治会から意見が上がっている。さらに、先の代表質問(※)でのやりとりを経て、29年度の対応が具体的にどうなるのか伺いたい。

A 消防局長 今後、消防団と調整をしながら、地域の実情に合わせた車両配備を進めていきたいと考えている。

との回答を引き出すことができました。今後は計画の見直しが確実に実行されるよう、しっかり見届けてまいります。

(※)市消防団充実計画をめぐる問題

小型ポンプ積載車配備計画の変更を要望

市は消防団員の高齢化や新規入団者の減少傾向などを受け、「市消防団充実強化計画」を策定。そこには「①大規模災害に対応するために必要な消防力を確保するため消防団の充実強化が必要、②消防団は地域密着性、要員動員及び即時対応力の面で優れた組織であり、地域の安心・安全の確保の上で不可欠な組織、等」充実強化の必要性をうたっています。

しかし車両配備については、これまで消防ポンプ自動車の配備が通常だったところ、「地域特性及び活動の利便性を考慮した車両配備を進める」として、小型ポンプ積載車3台の配備計画を提案してきました。これを受け、各消防団や自治会などから防災力低下などを危惧する声が続出。市に対して計画の見直しを求める意見・要望をはじめ、市議団へも要請がありました。

自民党市議団は2月定例会において、代表質問でこの問題を取り上げ、市に対し計画変更を要求(2月14日)。再検討するとの回答を引き出すことができたことから、予算委員会での再検討の具体的な結果を確認する質問を重ねて行いました。



消防ポンプ自動車と小型ポンプ積載車の仕様

消防ポンプ自動車	小型ポンプ積載車
毎分放水量:2,000ℓ 同時4線放水可能 総重量:4.56t	毎分放水量:1,320ℓ 同時2線放水可能 総重量:2.97t

クリテリウム予算 カットを提案!!

市民最優先の市政実現に 向け取り組んでいきます

2月定例会において、自民党市議団は平成29年度予算案について賛成しませんでした。

自民党市議団は、クリテリウム(国際自転車競技大会)の予算約3億円のカットなどを提案していました。しかし市は私たちの提案を十分検討することなく、大型のイベント開催に固執する姿勢を改めませんでした。

自民党市議団は今後も清水市長の施策をしっかり監視し、市民最優先の市政実現に向け取り組んでまいります。

私たちが考える問題点

- クリテリウム(国際自転車競技大会)＝①来年度は「さいたまスーパーアリーナ」が使用できない状況にあり先行き不透明であること、②企業からの協賛金が大幅減少し、市の負担金が増額する恐れがあることなど(予算＝約3億円)
- 国際マラソン大会＝負担金が大会の開催経費に占める割合が高すぎることなど(予算＝約2億8千万円)



さいたま市政への皆さまの声、ご意見・ご要望をお寄せください。

土橋勇司 政務活動事務所 〒338-0814 さいたま市桜区宿110-4

TEL : 048-854-7918 / FAX : 048-854-7786

E-mail : info@y-dobashi.sakura.ne.jp http://y-dobashi.jp/

～フェイスブックでも情報発信中!!～

